



川上村地域おこし協力隊

「かわかもん」

平成28年度活動報告会

日程：平成29年1月22日（日）

時間：13:00～（12:30開場）

場所：川上総合センターやまぶきホール

主催：川上村



は じ め に

本日は、お忙しい中、地域おこし協力隊活動報告会にお集まりいただき誠にありがとうございます。

川上村では、平成25年度に地域おこし協力隊制度を導入して以来、これまで17名の隊員を全国各地から受け入れてきました。初期のメンバーは隊員としての任期を昨年3月で終えましたが、そのうち3名が村内に定着し、地域支援員※として現在も活動を続けております。

これまでの振り返ると、制度の導入当初、彼らは皆さまに「地域おこし協力隊とは何か」を知ってもらうことから始まり、地域を学び、自ら課題に取り組んできました。多くの方から助言や支援をいただき、地域資源を活かしたプロジェクトに取り組み、それらの推進や事業化へとその活動も変わってきました。

※ 地域支援員・・・

地域おこし支援員(集落支援員)と定住支援員で構成。ともに総務省の事業となっており、地域おこし協力隊と同じく地域の課題に取り組んでいる。川上村独自の名称。

川上村長 栗山 忠昭



これまで開業準備を進めてきた農家民宿「暮らす宿HANARE」も営業を開始しました。また、新たに外国人の隊員も活動を始め、今後、国際色豊かな取り組みへと事業の発展も期待できるのではと考えています。

地域おこし協力隊活動は「隊員」、「行政」、そして「地域の皆さま」との連携がなければ成功しません。本日は、彼らの報告をお聞きいただくことで、さらにご興味を持っていただければと思っております。

今後も村としては、可能な限り協働し、バックアップしていく所存であります。

引き続き、地域おこし協力隊事業へのご理解、ご協力をお願いしまして、簡単ではございますが挨拶とさせていただきます。

KAWAKAMON



吉野川源流・水源地の村

かわかみ

・ ・ ・ 川上村と地域おこし協力隊 ・ ・ ・

地域おこし協力隊制度は、平成21年から総務省事業として創設され、移住定住を促進すべく、全国2,625人の協力隊が全673自治体へ移住しています(平成27年度時点)。川上村でも隊員が村内各地に居住し、自らの生業を作るべく活動しています。

そんな隊員たちの活動を皆さんに知っていただけるよう、昨年に引き続き、本活動報告会を開催しました。各々の活動報告からは活動内容だけでなく、村への思いも感じていただけるのではないかと思います。

より報告を身近に感じていただけるように、次ページ以降に隊員プロフィールや活動内容等を掲載しました。どうぞ、ご一読くださるよう、お願いいたします。

・ ・ ・ 現在の活動 ・ ・ ・

活

山をいかす、山といきる。
やまいき市

studio Jig

～吉野杉×Free Form Lamination～

山遊び塾

yoi yoi
かわ かみ



暮らす宿 HANARE

むらしるべ



神保 大樹

Hiroki Jimbo

前住所：新潟県

現住所：中奥

採用月：平成26年4月

地域おこし協力隊
やまいき市



事業を興すということの大変さとともに、人の繋がりが持つ力の大きさを実感した1年間でした。来年度から立場は変わりますが、村で得た学びを活かし、お世話になった方々の恩に報いられるような仕事をしていきます。

K A W A K A M O N

M E M B E R S



竹中 雅幸

Masayuki Takenaka

前住所：大阪府

現住所：武木

採用月：平成26年6月

地域おこし協力隊
ヨイヨイかわかみ



川上村に来て約3年、振り返ってみるとあっという間でした。2年目に入ったエコツアーの取り組みは、まだまだこれからです。5年後、10年後を見据え活動が続けていきたいと思います。これからもよろしくお願いします。



岩本 寛生

Hiroki Iwamoto

前住所：山口県

現住所：白川渡

採用月：平成27年9月

地域おこし協力隊
やまいき市



吉野川紀の川流域の生産者と出会い、商品の仕入れをし、やまいき便りで紹介することに力を入れてきました。今後も流域の生産者との繋がりを大切にしながら、やまいき市の発展に尽力していきたいと思います。

K A W A K A M O N

M E M B E R S



安田 芳裕

Yoshihiro Yasuda

前住所：田原本町

現住所：西河

採用月：平成27年9月

地域おこし協力隊
ヨイヨイかわかみ



年間を通して自然で遊ぶツアーを開催し、僕自身も村の四季に初めて触れることで、村の美しさと豊かさを体感できました。素敵な川上村をもっとたくさんの人に好きになってもらえるように頑張ります。



農家民宿HANAREの運営、むらしるべ、そして樽丸づくりなどの活動を通して以前よりも川上村のことを知り少しずつですが、川上村で暮らしていく力がついてきました。これからも精進して参ります。

横堀 寛人

Hirohito Yokobori

地域おこし協力隊
農家民宿
HANARE

前住所：岐阜県

現住所：粉尾

採用月：平成27年9月

K A W A K A M O N

M E M B E R S



川上村に来て9ヶ月が経ちました。多くの方に気にかけて頂き、おかげさまで充実した日々を送れています。1年目は準備の年だったので、2年目からは自身の活動を通して自立する事を目標に頑張りたいと思います。

平井 健太

Kenta Hirai

地域おこし協力隊
studio Jig

前住所：兵庫県

現住所：大滝

採用月：平成28年4月



マタレーゼ エリック ジェームス

Eric James Matarrese

前住所：米国カリフォルニア

現住所：上多古

採用月：平成28年6月

地域おこし協力隊

O i d e

やまいき市の手伝いや夏と秋の祭、Oideの活動を通して多くの村民に会えてありがたいです。

これから皆さんと力を合わせて、地域の文化と歴史を大切にしながら川上村のストーリーを世界に伝えたいです。

K A W A K A M O N

M E M B E R S



鳥居 由佳

Yuka Torii

前住所：大阪府

現住所：寺尾

採用月：平成25年6月

地域支援員

恋する丸太プロジェクト

いつも活動にご協力してくださる皆さまには、心より感謝しています。

メディア出演に加え、全国各地からの講演やイベント依頼など、人の繋がりに恵まれた1年となりました。

今後も幅広い分野で活動していきます。



横堀 美穂

Miho Yokobori

地域支援員

農家民宿
HANARE

前住所：岐阜県

現住所：粉尾

採用月：平成25年4月



協力隊を卒業し定住支援員としての活動をしています。村に来て4年が経ち、商工会女性部に入れてもらったり、粉尾の皆さんに可愛がってもらい、本当に有り難く過ごしています。お返しできるよう精進していきます。

K A W A K A M O N

M E M B E R S



早稲田 緑

Midori Waseda

地域支援員

山の文化発信
プロジェクト

前住所：神奈川県

現住所：高原

採用月：平成25年6月



「緑に生きる」という私のわがまを叶えてくれているこの川上村とこの地に生きる人たちに感謝しています。山暮らしという希少なものを当たり前にするライフスタイルを発信すべく取り組んでいます。

やまいき市



目的

地域の資源を活かした 仕事づくり

概要

2014年から始まったやまいき市は3年目を迎えました。

私たちは毎週土曜日に、村民の育てた野菜と吉野川紀の川流域から仕入れた農水産物を販売する朝市を開催し、農業振興と買物支援の両面から、源流域での豊かな暮らしづくりに取り組んでいます。

今年度は流域の生産者との関係づくりを精力的に行い、朝市の仕入品や「やまいき便り」の記事を充実させたほか、「やまいき市感謝祭」で生産者による直売会を初めて実施しました。

担当



神保



岩本

左上：土曜朝市の様子

左下：商品開発した木桶仕込みの漬物

右上：やまいき市感謝祭の出店者の皆さん

右下：毎月発行の広報紙「やまいき便り」

2016年の取り組み

通年 朝市「やまいき市」開催
「やまいき便り」刊行

5月 匠の聚イベントにて流域物産展開催

6月 「西日本産直協議会展示会」出店

7月 やまいき市2周年祭

9月 かわかみらいふ大感謝祭出店

10月 白川渡キャンプイベント出店

11月 山幸彦まつりにて「源流市」開催

12月 やまいき市感謝祭

Oide



目的

地域に合わせた翻訳、通訳、その他の言語サポート

概要

川上村、吉野郡、奈良県、高野山、熊野古道など紀伊半島エリアを対象とした翻訳・通訳サービスを展開し、国内海外に関わらず、新たな交流が多く生まれること、日本の地域文化や暮らしに興味を持たれる方が増えることをめざしています。

村の宿泊施設や観光関係の企業をサポートしながら、海外からの観光客に対応できるように協力させていただきたいと思います。

現在はOideのHPで「上流の日々」のブログを書いたり、毎月広報に折り込む新聞を発行すること等によって、私から見た川上村を村内外へアピールしています。

担当



エリック

左上：村のイベントで自己紹介

左下：集落の餅まきへ参加

右：Oide事務所の看板

2016年の取り組み

- 6-9月 協力隊として村に移住。村に馴染めるよう暮らしについて学びながら、活動計画を検討。
- 10月 活動「Oide」の開始
- 11月 Oide新聞の第1号発行
- 12月 村内宿泊施設の協力を受け外国人観光客の宿泊状況調査を開始。

山遊び塾ヨイヨイかわかみ



目的

川上村のファンづくり 村内におけるエコツアーの定着

概要

私たちは経済的・環境的に持続可能な自然観光のあり方であるエコツアーを通して、川上村のファンを増やし、ガイド業が生業として成立することをめざしています。

活動1年目のモニターツアー期間を終え、2年目の現在は、村内の宿泊施設と連携したツアーの実施や、行楽期にカヌー体験を連日開催するなど、活動の幅を広げてきました。

今後はツアーの常時開催体制を整え、収益性を確保しながら、事業の安定に取り組んでいきます。

左上：夏の人気プログラムといえば川遊び

左下：昔ながらのかまどで炊飯体験

右上：龍神様にカヌーでご挨拶

右下：夜の森探検へ出発！

2016年の取り組み

- | | |
|-----|-----------------------------|
| 通年 | カヌー、洞窟探検、苔観察など、各種エコツアーを毎月開催 |
| 3月 | 1年間のモニターツアー期間終了 |
| 4月 | ホテル杉の湯コラボツアー初開催 |
| 5月 | GWにあわせカヌーツアー、苔ツアーを連日開催 |
| 6月 | 奈良県×近鉄連携ツアーガイド協力 |
| 7月 | 宿泊者向け夜のショートツアーを匠の聚にて開催 |
| 8月 | 夏カヌーツアーを1ヶ月間連日開催 |
| 11月 | 全国エコツーリズム大会にて活動発表 |
| 12月 | NHK奈良「ならナビ」にて洞窟探検ツアーが放送される |

担当



竹中



安田

studio Jig



目的

吉野杉を活用した新しい家具の開発・販売

概要

私は、村の基幹産業である吉野林業によって育まれた吉野杉と、自身がこれまで培ってきた木工技術を組み合わせ、杉を利用した新しい家具を開発、販売することで自活をめざしています。

現在は村内にある木材加工の工場の一画をお借りし、商品となる家具の試作や旭川家具デザインコンペ等への応募を行っています。

また、村内外での木材加工依頼への対応や、村と連携を結んでいる大阪工業大学の学生へ木材加工指導なども行っています。

担当



平井

左上：3日間の椅子制作合宿の学生たち

左下：工房での作業台の組立風景

右上：大工大の教室でカトラリー制作指導

右下：大滝の借家改修工事風景

2016年の取り組み

4月 木工センター勤務（奈良の木ブランド課開発の商品制作及び環境整備）

5月 大滝借家改修工事

7月 studio Jigとして活動開始、工房整備

8月 大阪工業大学の学生へ木工指導（大阪まちデコール2016出展作品）

9月 吉野杉製バイオリン用部材の制作（奈良県森林技術センター依頼）

10月 試作品第一弾スツール、座椅子完成

11月 全国協力隊サミット参加

12月 試作品第二弾の座卓完成

暮らす宿HANARE



目的

村の移住・交流の窓口

概要

村にただ遊びに来てもらうのではなく、もう少し深く、そして親しくなってもらうための拠点として、宿を始めました。ただ素通りするだけではもったいない。ちょっとした「村の暮らし」に触れることで、「村の暮らし」も変わっていくのではないかと思います。

「こうした方がいい」というアドバイスはたくさんあると思いますが、実際に実行するplayerがいなくては動きません。「まずやってみよう」と始めました。

まだまだ至らないところだらけですが、身の丈に合った速度で進んでいきたいと思っています。

担当



横堀美穂



横堀寛人

左上：川上WEEK苔ワークショップ

左下：染色ワークショップ開催

右上：川上村の暮らしの道具等出展

右下：大学生合宿の作業中

2016年の取り組み

6月 岐阜にて川上WEEK開催

7月 プレスリリース、営業開始

9月 大学生受け入れ、無料ライブ開催

10月 村内フェス参加

11月 染色ワークショップ開催

恋する丸太プロジェクト



目的

吉野林業の振興・PR活動

概要

吉野杉の原木購入に引き続き、吉野桧の原木も購入しました。自らが広告塔となり、吉野林業のことや自身の体験を幅広く広報・発信しています。これまで積み重ねてきた山や地域に関することを軸に、全国的に講演会などで登壇しています。

また「林業BAR」を含め、県外のイベントにも多数出展。

川上村内のアテンドの依頼も多く、全国のさまざまな業種の人たちとも繋がりを深めながら、吉野林業の新たな価値を生み出すような活動を継続しています。

担当



鳥居

左上：openMUJI有楽町 出展

左下：大阪でのワイズメンズ記念講演

右上：東京での木材関係者向けの講演

右下：ラジオ「FM大阪」出演

2016年の取り組み

- 4月 朝日新聞掲載、NHKラジオ生出演
- 6月 毎日放送ちんぷいぷい出演
- 5月 森林と市民を結ぶ全国の集い@東京
- 7月 NHKならナビ、ぐるっと関西出演
国産材を使った木造住宅を守る会講演
林業まつり
- 8月 森のママまつり@大阪出展
林業BAR出展
- 9月 Open MUJI 有楽町 出展
森林の市@大台町 出展
- 11月 ワイズメンズ記念講演
自伐型林業フォーラム@和束町登壇
- 12月 FM大阪 ラジオ出演
(株) 内田洋行セミナー登壇

山の文化発信プロジェクト



目的

吉野川上の山とともにある 暮らしと仕事を続けていくため

概要

「おじいちゃんが植えた木を、お父さんが育てて、私が伐る」三世代にわたる山の営みは、希少で尊いものです。この吉野川上の地域資源に、さまざまな角度から人に関わってもらいながら紡いでいければと、「山守さんと行く林業ツアー」や展示会、木工ワークショップを企画・実行してきました。

昨年から取り組んできた林業ツアーは、山守さんと共に勉強会を始め、林業を環境学習に活用すべく挑戦しています。

また、今年は食と林業との深い繋がりを打ち出すような展示を行う等、山という資源の可能性を広げる活動を継続しています。

担当



早稲田

左上：日本酒をテーマに吉野林業

左下：〃

右上：大阪市立大学を山の中へ案内

右下：大学生たちに山を案内

2016年の取り組み

- 5-6月 奈良県立畝傍高校総合学習NARA TIMEで林業のフィールドワーク
- 7月 山の勉強会開始 山守さん、森と水の源流館のスタッフ、吉野に来た協力隊とともに地域資源を学ぶ機会を作る
- 8月 地域づくりインターン生向け「山から貯木まで」を学ぶプログラム企画実施
- 10月 水源地を訪ねるツアー企画協力
- 11月 食の祭典シェフェスタにて木工ワークショップ出展
- 11月 奈良をつなぐ家づくりの会の林業ツアー企画協力
- 12月 南都銀行主催ビジネスマッチングの展示企画「山からの贈りもの」実施。奈良県・南都銀行、吉野郡内の6町村との共同出展を調整

KAWAKAMON PHOTO ALBUM

川上村で地域おこし協力隊が活動を始めて4年目を迎え、彼らの活動も多方面にわたりさまざまな繋がりを生んでいます。その経験を発展させ、現在はさまざまな分野の活動に取り組んでいます。彼らの活動を少しではありますが、フォトアルバムとして掲載しました。

引き続き、彼らの活動に期待したいと思います。

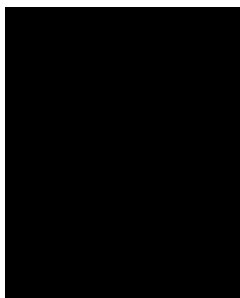


KAWAKAMON PHOTO ALBUM



活動実績チラシ集

山をいかす、山といきる。
やまいき市



暮らす宿 HANARE

おかしなベ

KAWAKAMON PHOTO ALBUM

山遊び塾 yoi yoi かわ しみ



山の文化発信 プロジェクト The Art of Forest



地域おこし協力隊とは・・・

地域を変える力 になろう。

「都会を離れて地方で生活したい」「地域社会に貢献したい」

「人とのつながりを大切にして生きていきたい」

「自然と共存したい」「自分の手で作物を育ててみたい」…。

今、都会に住む人たちがさまざまな理由で豊かな自然環境や歴史、
文化などに恵まれた「地方」に注目しています。

「地域おこし協力隊」とは人口減少や高齢化等の進行が著しい地方において、
地域外の人材を積極的に受け入れ、地域協力活動を行ってもらい、
その定住・定着を図ることで、
意欲ある都市住民のニーズに応えながら、
地域力の維持・強化を図っていくことを目的とした制度です。
(移住・交流推進機構ホームページより引用)



らも、
よろしく
お願いいたします！